

## 2 盛岡広域消防のあゆみ

昭和46年 8月	盛岡地区広域行政事務組合消防本部は、昭和46年 8月 1日に 1消防署、11分署、4出張所をもって発足する。(管内市町村は、盛岡市、雫石町、葛巻町、岩手町、西根町、滝沢村、松尾村、玉山村、紫波町、矢巾町、都南村及び安代町の12市町村)
	消防職員51名を採用する。(条例定数222名、実員202名)
12月	城西出張所を開設する。(化学消防ポンプ自動車1台 (I型)、職員10名) 雫石、葛巻、西根、滝沢、松尾、玉山、矢巾及び安代の各分署に救急自動車 (2B型) を配備する。
昭和47年 1月	葛巻分署及び松尾分署に消防ポンプ自動車 (BS-I型) を配備する。
2月	岩手分署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型) 及び救急自動車 (2B型) 並びに紫波分署に救急自動車 (2B型) を配備する。
3月	都南分署庁舎を新築する。
4月	消防職員25名を採用する。(条例定数225名、実員223名) 西根分署及び松尾分署の庁舎を新築する。
12月	厨川出張所を開設する。(化学消防ポンプ自動車1台 (II型)、職員9名)
昭和48年 2月	矢巾分署及び安代分署に消防ポンプ自動車 (BS-I型) を配備する。
3月	滝沢分署庁舎を新築する。 盛岡消防署に給水車 (8,000ℓ) 及び滝沢分署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型) を配備する。
4月	消防職員30名を採用する。(条例定数250名、実員250名) 雫石分署、玉山分署及び矢巾分署の庁舎を新築する。
10月	岩手分署庁舎を新築する。 都南分署に救急自動車 (2B型) を配備する。
昭和49年 2月	盛岡消防署に救急自動車 (2B型、盛岡日産モーター株式会社寄贈) を配備する。
3月	盛岡消防署に広報車 (盛岡地区危険物安全協会寄贈) を配備する。
4月	消防職員25名を採用する。(条例定数273名、実員272名)
昭和50年 2月	盛岡消防署にはしご付消防ポンプ自動車 (32m級) を配備する。
3月	雫石分署及び繋出張所に水槽付消防ポンプ自動車 (II型) を配備する。
4月	消防職員7名を採用する。(条例定数275名、実員275名) 消防本部を2課3係 (総務課-総務係、消防課-消防係、予防係) とする。 盛岡消防署庁舎を移転新築する。
5月	岩手県内の一部事務組合及び市町と消防相互応援協定を締結する。
6月	消防職員1名を採用する。(欠員補充、実員275名) 繋出張所庁舎を新築する。
7月	宮古地区広域消防等組合と救急業務応援協定を締結する。
10月	盛岡消防署に救急自動車 (2B型、岩手県共済農業協同組合連合会寄贈) を配備する。
12月	青山出張所に給水車 (8,000ℓ) を配備する。
昭和51年 4月	消防職員34名を採用する。(条例定数305名、実員305名) 盛岡消防署を5係 (総務係、予防係、消防係、消防設備係、通信係) とする。

5月	盛岡消防署に救急自動車（2 B型、住友生命保険相互会社寄贈）を更新配備する。
10月	大曲仙北広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結する。
11月	松園出張所を開設する。（水槽付消防ポンプ自動車1台（Ⅱ型）、職員10名） 太田分駐所を開設する。（水槽付消防ポンプ自動車1台（Ⅱ型）、機関常備員2名）
12月	安代分署庁舎を移転新築する。 田山分駐所を開設する。（消防ポンプ自動車1台（BS-I型）、機関常備員2名）
昭和52年1月	消防職員1名を採用する。（欠員補充、実員305名）
4月	消防職員28名を採用する。（条例定数333名、実員330名）
9月	日本道路公団仙台管理局と東北自動車道における救急業務に関する覚書を締結する。
10月	仙北出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日本損害保険協会寄贈）を更新配備する。
11月	消防職員9名を採用する。（条例定数338名、実員338名） 紫波分署庁舎を移転新築する。 高速道救急隊を発隊させ、都南分署に配置する。（救急自動車1台（3 B型、日本損害保険協会寄贈）、職員7名） 岩手県内の東北自動車道沿線の一部事務組合と東北自動車道消防相互応援協定を締結する。
昭和53年3月	消防職員2名を採用する。（欠員補充、実員338名）
4月	消防職員12名を採用する。（条例定数351名、実員348名） 松園出張所に救急自動車（2 B型）を配備する。
昭和54年3月	盛岡消防署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を配備する。 安代分署に救急自動車（2 B型、岩手県共済農業協同組合連合会寄贈）を更新配備する。
4月	消防職員19名を採用する。（条例定数364名、実員364名） 紫波分署を紫波消防署（予防係と消防係の2係）に昇格させる。
6月	葛巻、西根、滝沢、矢巾、都南及び安代の各分署に広報車を配備する。 盛岡消防署に指揮車を配備する。
9月	仙北出張所に救急自動車（2 B型、日本消防協会寄贈）を更新配備する。
12月	盛岡消防署に消防ポンプ自動車（BD-I型）を更新配備する。
昭和55年1月	城西出張所庁舎を移転新築する。 高速道救急隊を城西出張所に移設する。
4月	消防職員14名を採用する。（条例定数377名、実員377名）
5月	盛岡消防署に救急自動車（2 B型、株式会社高七紙工寄贈）を更新配備する。
7月	消防職員2名を採用する。（欠員補充、定員377名）
10月	消防職員1名を採用する。（欠員補充、定員377名）
12月	葛巻分署庁舎を移転新築する。 厨川出張所庁舎を新築する。 上田出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新配備する。 消防本部に広報車（盛岡瓦斯株式会社寄贈）を配備する。
昭和56年4月	消防職員15名を採用する。（条例定数391名、実員391名）

11月	雫石分署に広報車を配備する。
12月	岩手分署に消防ポンプ自動車（B D－I型）及び西根分署に救急自動車（2 B型、株式会社山之内製薬寄贈）を更新配備する。
昭和57年 4月	消防職員13名を採用する。（条例定数401名、実員401名）
9月	雫石分署に救急自動車（2 B型、日本消防協会寄贈）を更新配備する。
11月	滝沢分署庁舎を移転新築する。
12月	岩手分署及び矢巾分署に救急自動車（2 B型）を更新配備する。
昭和58年 3月	盛岡消防署に指揮車を更新配備する。
4月	消防職員9名を採用する。（条例定数410名、実員408名） 中野出張所を開設する。（消防ポンプ自動車1台（B D－I型）、職員10名）
6月	盛岡消防署に広報車を配備する。
9月	盛岡消防署に資器材搬送車（日本消防協会寄贈）を配備する。
10月	鹿角市と東北自動車道消防相互応援協定を締結する。
12月	青山出張所に水槽付消防ポンプ自動車（II型）及び松尾分署に救急自動車（2 B型、日産自動車株式会社寄贈）を更新配備する。
昭和59年 1月	紫波消防署及び玉山分署に救急自動車（2 B型）を更新配備する。
2月	上田出張所に広報車（盛岡地区防火協力会及び盛岡地区危険物安全協会寄贈）を配備する。
4月	消防職員9名を採用する。（条例定数413名、実員413名） 盛岡消防署に特別救助隊を発隊させる。
昭和60年 2月	都南分署及び松園出張所に救急自動車（2 B型）を更新配備する。
3月	紫波消防署及び矢巾分署に水槽付消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。
4月	消防職員2名を採用する。（実員413名） 消防本部を2課3係から2課6係とする。（総務課—総務係、人事教養係、会計係、消防課—消防係、予防係、救急救助係）
5月	紫波消防署に指揮車を更新配備する。
8月	青山出張所に救急自動車（2 B型）及び滝沢分署に救急自動車（2 B型、日本消防協会寄贈）を更新配備する。
10月	滝沢分署及び都南分署に水槽付消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。
12月	仙北出張所、城西出張所及び厨川出張所に広報車（盛岡瓦斯株式会社寄贈）を配備する。
昭和61年 1月	葛巻分署に救急自動車（2 B型、日本自動車工業会寄贈）を更新配備する。
3月	厨川出張所に水槽付消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。
4月	消防職員6名を採用する。（条例定数414名、実員414名）
6月	安代分署に広報車を更新配備する。
11月	盛岡消防署に水槽付消防ポンプ自動車（II型）及び紫波消防署に消防ポンプ自動車（B D－I型）を更新配備する。
昭和62年 4月	消防職員7名を採用する。（条例定数419名、実員419名）
5月	都南分署に広報車を更新配備する。
9月	松園出張所に広報車を配備する。
10月	盛岡消防署に救助工作車（II型）を配備する。 盛岡消防署の資器材搬送車を紫波消防署に配置替えする。
12月	岩手分署及び松尾分署に水槽付消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。

昭和63年 1月	葛巻分署に消防ポンプ自動車（B D－I型）を更新配備する。
4月	消防職員11名を採用する。（条例定数426名、実員425名） 紫波消防署に総務係を新設する。 松尾分署に広報車を配備する。 矢巾分署に広報車を更新配備する。
5月	岩手分署に広報車を更新配備する。
7月	繫出張所に広報車を配備する。
10月	繫出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I－A型、日本損害保険協会寄贈）を更新配備する。
12月	安代分署に救急自動車（2 B型・4 WD）を更新配備する。
平成元年 2月	玉山分署に消防ポンプ自動車（C D－I型・4 WD）を更新配備する。
3月	盛岡消防署に化学消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。 盛岡消防署の水槽付消防ポンプ自動車を城西出張所に配置替える。
4月	消防職員9名を採用する。（条例定数431名、実員431名）
5月	葛巻分署及び西根分署に広報車を更新配備する。
6月	滝沢分署に広報車を更新配備する。
10月	青山出張所に広報車を更新配備する。
11月	雫石分署に広報車を更新配備する。
平成2年 1月	高速道救急隊に救急自動車（2 B型・4 WD）を更新配備する。
2月	仙北出張所に救急自動車（2 B型・4 WD）を更新配備する。
3月	青山出張所に給水車（8,000ℓ）を更新配備する。 安代分署に消防ポンプ自動車（C D－I型・4 WD）を更新配備する。
4月	消防職員10名を採用する。（条例定数439名、実員439名）
5月	消防本部に指揮車を更新配備する。
6月	中野出張所に広報車（盛岡ガス株式会社寄贈）を配備する。
8月	消防本部に救急自動車（2 B型、日本消防協会寄贈）を配備する。
11月	盛岡消防署及び雫石分署に救急自動車（2 B型・4 WD）を更新配備する。
平成3年 2月	松尾分署庁舎を移転新築する。 雫石分署に水槽付消防ポンプ自動車（II型）を更新配備する。
3月	盛岡消防署に消防緊急情報システム（II型）を導入する。
4月	消防職員14名を採用する。（条例定数452名、実員452名） 盛岡消防署に救急救助係を新設する。 消防本部総務課の人事教養係及び会計係を人事係及び財務係に、消防本部消防課及び各消防署の消防係を警防係に、盛岡消防署の消防設備係及び通信係を建築設備係及び通信指令室に改める。
6月	盛岡消防署に作業車を更新配備する。
8月	消防本部発足20周年記念式典を挙げる。
11月	紫波消防署、岩手分署、西根分署及び松尾分署に救急自動車（2 B型・4 WD）を更新配備する。
平成4年 4月	消防職員15名を採用する。（条例定数463名、実員463名） 都南村が盛岡市に合併する。（管内11市町村） 消防本部に通信指令課（通信指令第一係、通信指令第二係）を新設する。（盛岡通信指令室員兼務）

	盛岡消防署を盛岡中央消防署に改め、青山出張所を盛岡西消防署（総務係、警防係、予防係、建築設備係）に、都南分署を盛岡南消防署（総務係、警防係、予防係、建築設備係）に昇格させる。
	紫波消防署に建築設備係を新設する。
	仙北出張所庁舎を移転新築する。
10月	盛岡中央消防署にはしご付消防自動車（35m級・4WD）を更新配備する。
11月	中野出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型・4WD）を更新配備する。
	玉山分署に救急自動車（2B型・4WD、日本消防協会寄贈）を更新配備する。
	盛岡中央消防署及び矢巾分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
	滝沢分署に救急自動車（2B型・4WD、株式会社流通技建寄贈）を更新配備する。
平成5年4月	消防職員28名を採用する。（条例定数488名、実員488名）
5月	雫石分署庁舎を移転新築する。
11月	松園出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型・4WD）を更新配備する。
平成6年3月	盛岡西消防署庁舎を新築する。
	盛岡中央消防署に高規格救急自動車を配備する。
4月	消防職員33名を採用する。（条例定数517名、実員517名）
	盛岡中央消防署に高度救急隊を発隊させる。
11月	安代分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
12月	太田分駐所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を更新配備する。
平成7年1月	紫波消防署に消防ポンプ自動車（BD-I型・4WD）を更新配備する。
2月	滝沢分署に救急自動車（2B型・4WD、日本消防協会寄贈）を配備する。
	盛岡中央消防署に指揮車（盛岡ガス株式会社寄贈）を更新配備する。
3月	盛岡南消防署庁舎を新築する。
	田山分駐所を廃止する。
4月	消防職員9名を採用する。（条例定数521名、実員521名）
	滝沢北出張所を開設する。（救急自動車1台（2B型・4WD）、職員16名）
6月	安代分署に広報車を更新配備する。
7月	紫波消防署に指揮車を更新配備する。
	滝沢北出張所に広報車を配備する。
11月	盛岡南消防署に作業車（有限会社三炯公楽寄贈）を配備する。
	仙北出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を更新配備する。
平成8年1月	葛巻分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
3月	盛岡西消防署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員18名を採用する。（条例定数533名、実員533名）
	盛岡西消防署に高度救急隊を発隊させる。
8月	上田出張所に広報車を更新配備する。
9月	雫石分署に広報車を更新配備する。
12月	滝沢北出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を配備する。
	岩手分署に消防ポンプ自動車（BD-I型・4WD）を更新配備する。
平成9年1月	盛岡中央消防署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）を更新配備する。
3月	松園出張所庁舎を新築する。
4月	消防職員17名を採用する。（条例定数543名、実員543名）

9月	玉山分署に広報車を更新配備する。
平成10年2月	盛岡中央消防署に広報車を更新配備する。
3月	盛岡西消防署に救助工作車（Ⅲ型）を配備する。 盛岡南消防署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員5名を採用する。（実員543名） 消防本部通信指令課に通信指令第三係を新設する。（盛岡通信指令室員兼務） 盛岡西消防署に救急救助係を新設するとともに、特別救助隊を発隊させる。 盛岡南消防署に高度救急隊を発隊させる。
9月	矢巾分署庁舎を移転新築する。 盛岡西消防署の大型水槽車を盛岡南消防署に配置替えする。 滝沢分署に広報車を更新配備する。 西根分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
12月	雫石分署及び松尾分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
平成11年1月	安代分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。
1月	上田出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を更新配備する。
3月	消防本部に災害活動支援車（4WD）を配備する。
4月	消防職員6名を採用する。（実員543名）
7月	消防本部に指揮車を更新配備する。
8月	盛岡西消防署に作業車を配備する。
10月	西根分署に広報車を更新配備する。
11月	安代分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
平成12年3月	紫波消防署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員7名を採用する。（実員543名） 西根分署庁舎を移転新築する。 紫波消防署に高度救急隊を発隊させる。
10月	松尾分署に広報車を更新配備する。
12月	盛岡南消防署に指揮車を更新配備する。
平成13年2月	盛岡西消防署、紫波消防署、滝沢分署及び矢巾分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を更新配備する。
3月	岩手分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員6名を採用する。（実員543名） 岩手分署に高度救急隊を発隊させる。
7月	城西出張所に広報車を更新配備する。
12月	城西出張所に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
平成14年1月	盛岡通信指令室の自動出動指定装置及び地図等検索装置を更新する。
3月	矢巾分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員9名を採用する。（実員543名） 矢巾分署に高度救急隊を発隊させる。
10月	松園出張所に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
11月	盛岡通信指令室の指令電送装置及び車両動態表示装置を更新する。
平成15年2月	盛岡地域メディカルコントロール協議会を設置する。 松尾分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。 盛岡南消防署及び岩手分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を更新配備する。

3月	滝沢分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員9名を採用する。（実員543名） 繫出張所庁舎を移転新築する。 滝沢分署に高度救急隊を発隊させる。
7月	矢巾分署に広報車を更新配備する。
11月	仙北出張所に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
12月	厨川出張所に広報車を更新配備する。
平成16年3月	西根分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員9名を採用する。（実員543名） 西根分署に高度救急隊を発隊させる。
8月	岩手分署に広報車を更新配備する。
10月	松尾分署及び玉山分署に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
11月	滝沢北出張所に救急自動車（2B型・4WD）を更新配備する。
平成17年3月	城西出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を更新配備する。 雫石分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員14名（うち女性消防職員2名）を採用する。（条例定数544名、実員544名） 雫石分署に高度救急隊を発隊させる。
7月	葛巻分署に広報車を更新配備する。
9月	西根町、松尾村及び安代町が合併し、八幡平市となる。（管内9市町村）
12月	仙北出張所に広報車（盛岡ガス株式会社寄贈）を更新配備する。
平成18年1月	玉山村が盛岡市に合併する。（管内8市町村）
2月	盛岡中央消防署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。 玉山分署に消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を更新配備する。
3月	安代分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員6名（うち女性消防職員1名）を採用する。（実員539名） 消防本部消防課を警防課（警防係、救急救助係）及び予防課（予防係、指導係）とし、消防本部を4課（総務課、警防課、予防課、通信指令課）体制とする。 西根分署を八幡平消防署（総務係、警防係、予防係、建築設備係）に昇格させる。 玉山分署を玉山出張所に、松尾分署を松尾出張所に、安代分署を安代出張所に改める。 安代出張所に高度救急隊を発隊させる。
6月	繫出張所に広報車を更新配備する。
12月	雫石分署に水槽付消防ポンプ自動車（II型・4WD）を更新配備する。
平成19年2月	盛岡中央消防署に防災広報車（日本消防協会寄贈）を配備する。
3月	城西出張所庁舎を移転新築する。 葛巻分署に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員14名を採用する。（実員542名） 葛巻分署に高度救急隊を発隊させる。
8月	消防本部に特殊災害対応資機材搬送車（4WD）を配備する。
9月	八幡平消防署に作業車を配備する。

平成20年 1月	中野出張所に広報車を更新配備する。
3月	安代出張所庁舎を移転新築する。
4月	盛岡中央消防署に救助工作車（Ⅲ型）を更新配備する。 消防職員24名（うち女性消防職員1名）を採用する。（条例定数547名、実員547名） 盛岡中央消防署に高度救助隊を発隊させる。
12月	盛岡西消防署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
平成21年 1月	城西出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型・4WD）を更新配備する。
3月	玉山出張所庁舎を移転新築する。
4月	松尾出張所に高規格救急自動車（4WD）を配備する。 消防職員19名を採用する。（実員547名） 松尾出張所に高度救急隊を発隊させる。
12月	盛岡西消防署に指揮車（盛岡ガス株式会社寄贈）を更新配備する。
平成22年 3月	紫波消防署及び岩手分署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
4月	消防職員21名（うち女性消防職員1名）を採用する。（条例定数549名、実員549名） 玉山出張所に高度救急隊を発隊させる。
11月	滝沢北出張所に広報車を更新配備する。
平成23年 1月	紫波消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を更新配備する。
3月	上田出張所庁舎を移転新築する。 紫波消防署に指揮車を更新配備する。
4月	矢巾分署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。 消防本部名を「盛岡地区広域消防組合消防本部」に改称する。 消防職員18名を採用する。（条例定数552名、実員552名） 消防本部総務課に盛岡中央消防署庁舎建設準備室を新設する。
7月	盛岡通信指令室の通信指令施設を部分更新する。
平成24年 1月	繫出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。
2月	滝沢北出張所に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を更新配備する。
4月	消防職員19名（うち女性消防職員1名）を採用する。（条例定数553名、実員553名） 盛岡西消防署の指揮車を盛岡中央消防署に配置替えする。 盛岡西消防署に指揮車（国からの緊急消防援助隊岩手県指揮隊車としての貸与）を配備する。
9月	矢巾分署に燃料補給車（国からの緊急消防援助隊燃料補給車としての貸与）を配備する。
11月	盛岡南消防署及び雫石分署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
平成25年 2月	盛岡南消防署に人員輸送車（国からの緊急消防援助隊人員輸送車としての貸与）を配備する。
3月	上田出張所及び滝沢北出張所に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員36名（うち女性消防職員3名）を採用する。（条例定数557名、実員557名） 上田出張所及び滝沢北出張所に高度救急隊を発隊させる。
11月	盛岡中央消防署に作業車（4WD）を更新配備する。 雫石分署及び滝沢分署に広報車を更新配備する。



12月	盛岡地区広域消防組合、奥州金ケ崎行政事務組合及び北上地区消防組合による盛岡・奥州金ケ崎・北上地区消防通信指令事務協議会を設置する。 八幡平消防署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。 松園出張所に広報車を更新配備する。
平成26年 1月	滝沢村が市制施行により滝沢市となる。（管内8市町） 盛岡中央消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。
3月	盛岡南消防署に水槽車を更新配備する。
4月	消防職員23名（うち女性消防職員1名、再任用職員1名）を採用する。（条例定数562名、実員562名） 滝沢分署を滝沢消防署（総務係、警防係、予防係、建築設備係）に昇格させる。 消防本部通信指令課及び盛岡通信指令室の通信指令第一係、通信指令第二係及び通信指令第三係を通信総務係、通信指令係及びシステム管理係に改める。
11月	安代出張所に高規格救急自動車（4WD、一般社団法人日本損害保険協会寄贈）を更新配備する。
12月	八幡平消防署に指揮車を更新配備する。 滝沢消防署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
平成27年 2月	中野出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。 城西出張所に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
4月	消防職員33名（うち女性消防職員3名、再任用職員4名）を採用する。（条例定数565名、実員565名） 城西出張所に高度救急隊を発隊させる。
10月	滝沢消防署に作業車（4WD）を配備する。
11月	松尾出張所に広報車（4WD）を更新配備する。
12月	紫波消防署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
平成28年 1月	安代出張所に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。
2月	矢巾分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。 仙北出張所に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
3月	盛岡中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型・4WD）を配備する。 盛岡中央消防署に広報車（4WD）を配備する。 盛岡中央消防署庁舎建設準備室を廃止する。
4月	消防職員36名（うち女性消防職員1名、再任用職員1名）を採用する。（条例定数576名、実員576名） 仙北出張所に高度救急隊を発隊させる。
5月	盛岡通信指令室を廃止する。
6月	盛岡中央消防署庁舎を移転新築する。 山岸出張所を開設する。（水槽付消防ポンプ自動車1台（Ⅰ-A型・4WD）、広報車1台（4WD）、職員12名） 盛岡・奥州金ケ崎・北上地区消防通信指令事務協議会による「岩手県中央消防指令センター」の運用を開始する。（派遣職員18名） 盛岡中央消防署の指揮車を盛岡西消防署に配置替える。 盛岡西消防署の指揮車を盛岡中央消防署に配置替える。
11月	葛巻分署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。

12月	岩手分署に高規格救急自動車（4WD）を更新配備する。
平成29年 2月	盛岡中央消防署にはしご付消防自動車（35m級・4WD）を更新配備する。 八幡平消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。 松園出張所に高規格救急自動車（4WD）を配備する。
3月	滝沢消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。 紫波消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・4WD）を更新配備する。
4月	消防職員21名（うち再任用職員3名）を採用する。（条例定数578名、実員578名） 玉山出張所に広報車（4WD）を更新配備する。 救急自動車がすべて高規格救急自動車となったことから、高度救急隊を救急隊に改める。